

研究テーマ名	貨幣設計に役立つ有限要素シミュレーション方法の開発
研究内容抄録	<p>本研究は研究開発基本方針のうち「各事業分野の技術力向上に寄与する研究開発」として位置付けており、有限要素法を用いて貨幣製造に係る問題を解析し、その結果を種印製造工程にフィードバックをすることで圧印工程の負担を軽減することを目的として取り組んでいる。</p> <p>具体的には、①レリーフの高さや形状から極印割れの発生個所を推定すること、②表裏のレリーフの容積から「ゴースト」の発生の可能性を推測すること、③メタルフローから微細加工の変形を予測することなどを行っている。令和2年度は、オリンピック・パラリンピック記念銀貨幣12貨種について、工業で発生した割れの個所をシミュレーション結果と照らし合わせて割れのメカニズムを検証した。また、エヴァンゲリオン2020プルーフ貨幣セット用銀メダルのゴースト発生要因のシミュレーションによる検証等を実施した。</p>
学会発表	—